

プールについて

(1) 座間市立プールの概要

①施設一覧

プール名	利用小学校	住所	プール基礎情報							一般開放日 (R1) (7/20~8/31)	開放日数 (R1)	設備(ろ過装置)		付属屋			年間使用量(R1)		利用児童数 (R1)	一般利用者数				
			建設年度	経過年数 (R5)	直近改修年度	地上/屋上	構造	塗装	大きさ (縦×横)			水深	改修年度	ろ過方式	築年	経過年数 (R5)	構造	耐震化		車椅子利用	電力 (kWh)	水道(m ³) 全体	(R1)	1日 当たり
座間公園プール	座間小学校	座間1丁目3671	1964	59		地上	FRP	ペンキ塗装	25m×15m	0.9~1.2	火・木・土	19	2014	珪藻土	1964	59	S	未実施	不可	15,696	5,384	2,963	1,083	57
広野プール	相模野小学校	広野台1丁目37-1	1967	56		地上	RC	ペンキ塗装	25m×15m	0.9~1.2	火・木・土	19	2003	珪藻土	1967	56	S	未実施	不可	9,407	4,610	1,826	1,472	77
ひばりが丘プール	ひばりが丘小学校	ひばりが丘4丁目4-3	1976	47		地上	鋼板	ペンキ塗装	25m×15m	0.9~1.2	火・木・土	19	2003	珪藻土	1976	47	S	未実施	不可	13,106	3,550	1,609	1,710	90
中原プール	中原小学校	西栗原2丁目14-1	1987	36		地上	アルミ	ペンキ塗装	25m×15m	1~1.2	火・木・土	19	1987	珪藻土	1987	36	S	未実施	不可	7,213	2,676	1,548	941	50
東原プール	東原小学校	東原3丁目3-14	1969	54		地上	鋼板	ペンキ塗装	25m×15m	1~1.3	月・水・木・日	24	2009	珪藻土	1969	54	S	未実施	不可	12,727	5,438	1,776	2,498	104
入谷プール	入谷小学校	入谷西5丁目43-1	1983	40		地上	アルミ	ペンキ塗装	25m×15m	1~1.2	月・水・木・日	24	2014	珪藻土	1983	40	S	未実施	不可	12,906	1,855	1,691	1,679	70
立野台プール	立野台小学校	立野台1丁目1-2	1962	61	2015	地上	FRP	ペンキ塗装	25m×15m	0.9~1.2	全日	43	2015	珪藻土	1962	61	S	未実施	不可	10,179	3,808	2,498	3,806	89
相武台プール	相武台東小学校	相武台4丁目2-13	1976	47		地上	アルミ	ペンキ塗装	25m×15m	0.9~1.2	月・水・木・日	24	2003	珪藻土	1976	47	S	未実施	不可	13,784	1,862	2,356	1,076	45
相模が丘プール	相模が丘小学校	相模が丘2丁目1-9	1982	41		地上	FRP	ペンキ塗装	25m×15m	0.9~1.2	月・水・木・日	24	2014	珪藻土	1982	41	S	未実施	不可	9,831	3,274	2,447	2,125	89
旭プール	旭小学校	ひばりが丘5丁目28-5	1985	38		地上	アルミ	ペンキ塗装	25m×15m	1~1.2	月・水・木・日	24	2017	珪藻土	1985	38	S	未実施	不可	13,605	4,794	1,660	1,617	67
栗原プール	(栗原小学校)	栗原中央6丁目5-25	1979	44		地上	アルミ	ペンキ塗装	25m×15m	0.9~1.2	(休止中)		2007	珪藻土	1979	44	S							

● 概要

- 市では、屋外市立プールを11施設保有している（うち1施設は2019年度より休止中）。
- 座間市立小学校の水泳指導は、これらの市立プールを使用して実施している。
- 市では、屋内プールは保有していない。
- 中学校の水泳指導は、実技を実施せず、水泳事故防止に関する心得を指導している。

(2) ハード面

- 築36年から築61年経過しており、そのうち9施設が築40年以上経過と、老朽化が進行しているため、今後、一斉に更新時期を迎える。
- 立野台プールのみ、2015年度に改修を実施済み。
- 附属屋もプールと同様、老朽化が進行している。
- 車いす利用ができないなど、バリアフリー未対応となっている。

②運用時間・期間

	運営期間	運営時間
一般利用	7/20~8/31	入替制 9:00~12:00 13:00~16:00 16:30~18:00
学校利用 (R1実績)	6/13~7/9 9/1~9/15	学校授業時間

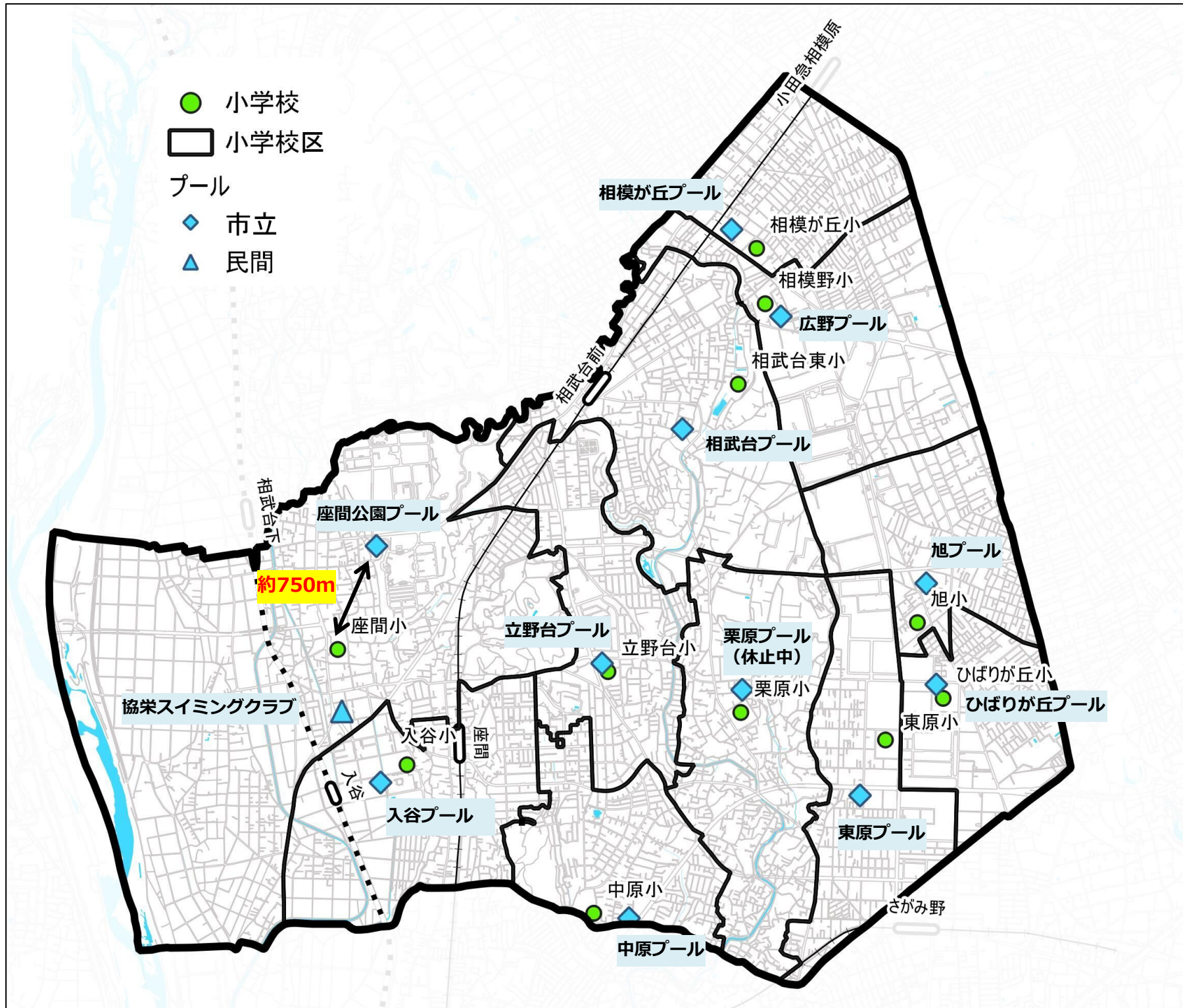
③一般利用料金

子供	100円
大人 (15歳以上)	210円

座間市内に在住の小中学生無料

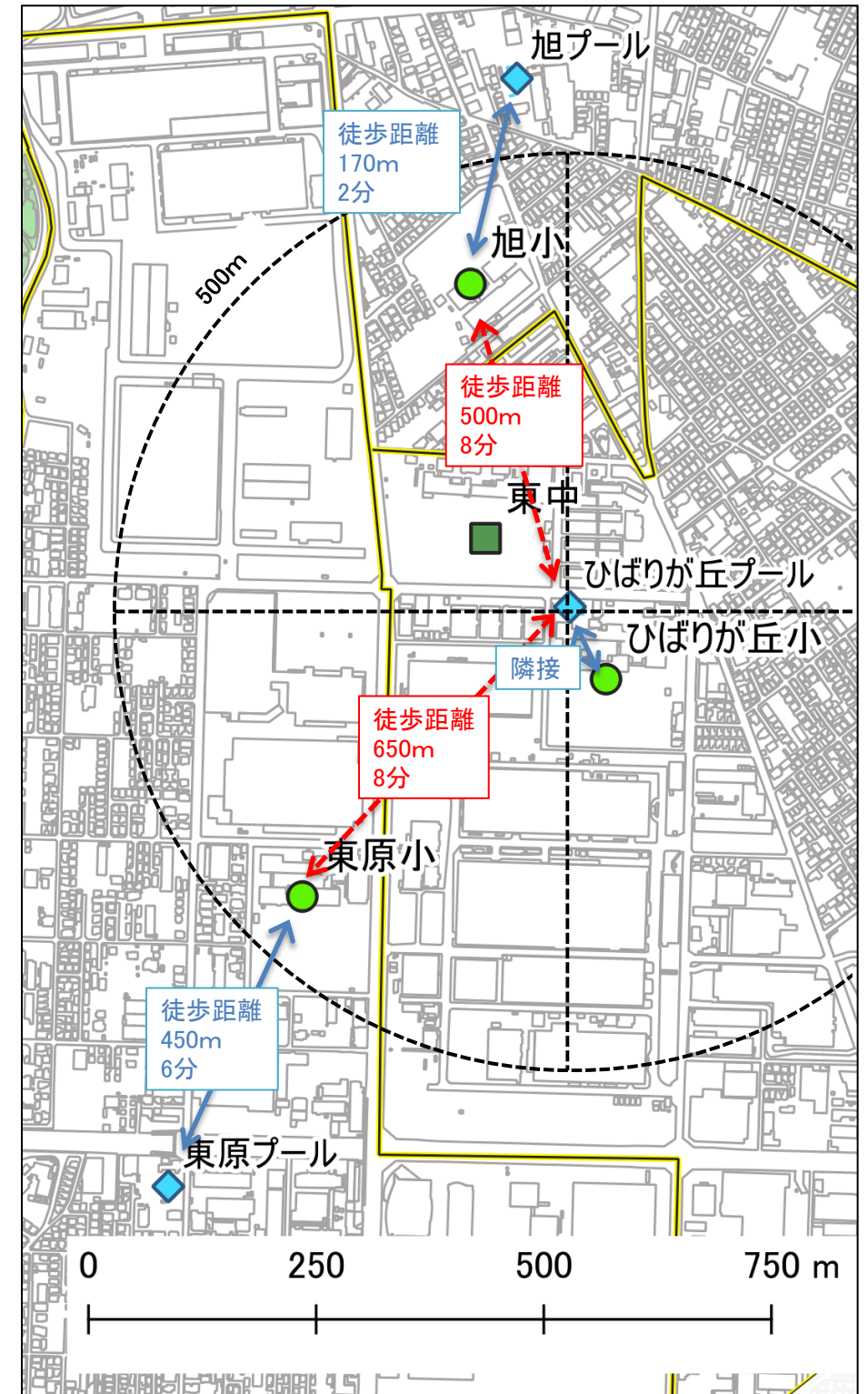
✓ 市立プールは、一律老朽化しており、一斉に更新の時期を迎えるため、学校での水泳指導が行えなくなる懸念がある。

●施設配置状況



- 基本的に、1小学校区に1プール、学校に近接して整備されている。
- 栗原プールは設備故障により休止しているため、栗原小学校のみ民間の協栄スイミングクラブを使用。
- 座間小学校と座間公園プールは750m離れており、移動負担の大きい箇所がある一方で、右図（例：東中学校区）のように、1km圏内に近接しているエリアもある。

●小学校と市立プールの関係（例：東中学校区）



- プール間の距離は1km以内に近接しており、ひばりが丘プールのように隣接校との距離が500m程度となっているプールもある。

✓ エリアによって、プールと学校の位置関係が様々であるため、児童の移動負担が異なる。

(4) 市立プール利用校について

①実施状況

- 学校利用は、2022年度は6/13～7/9と、9/1～9/15で、学校によって夏休みの前後に分かれている。
- 水泳指導は、2コマで1回の授業を実施（移動・着替えを含む）している。
- 移動は基本的に徒歩となっている。

<学校別の実施状況例> (2022年度)

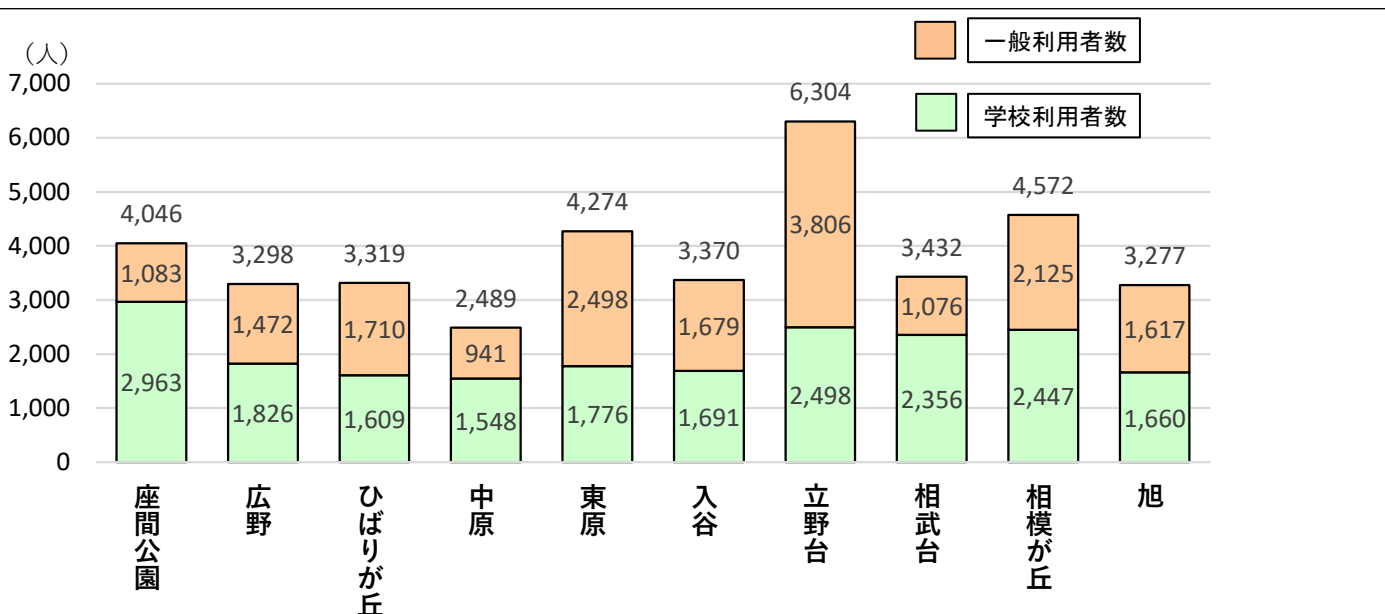
●東原小学校（東原プール使用）

(年間使用コマ 30コマ)

東原小		時間	9/1	9/2	9/5	9/6	9/7	9/8	9/9	9/12	9/13	9/14	9/15	9/16
			木	金	月	火	水	木	金	金	月	火	水	木
AM	1時間目	8:35～9:20		5年	6年	2年	1年		5年	4年	3年	1年	6年	
	2時間目	9:30～10:15												
	3時間目	10:35～11:20			4年	3年	支援			5年	支援	2年		
	4時間目	11:30～12:15												
PM	5時間目	13:50～14:35												
	6時間目	14:45～15:30												

- 東原小学校の場合には、学年ごとに2時間ずつ連続授業を実施している。
- 授業の実施期間は、9月2日から15日までの間の9日間。

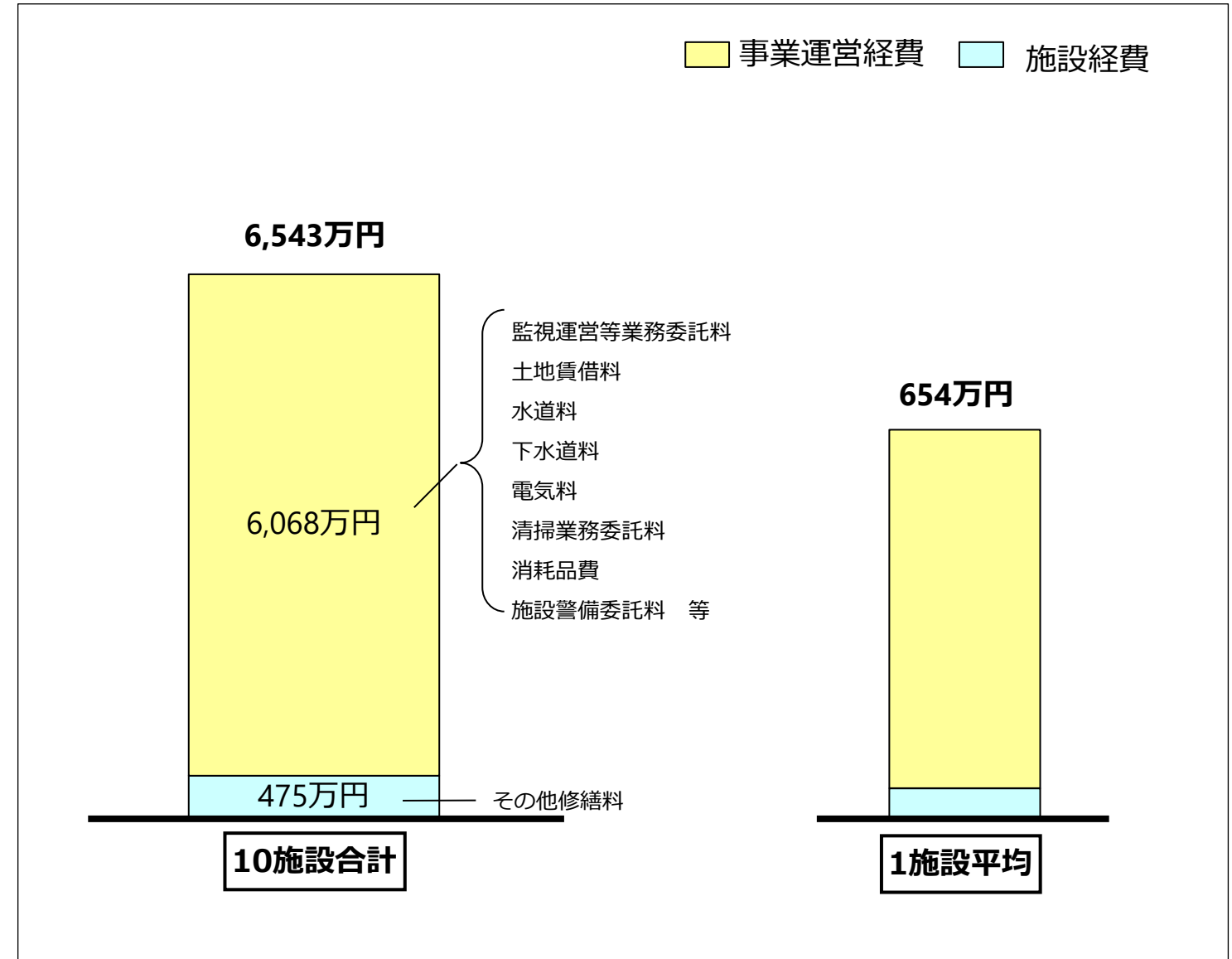
(参考) 一般利用をあわせた利用者数 (2019年度)



- 全10施設の2019年度利用者数は、3.8万人。うち学校利用者が2.0万人/年（53%）、一般利用者が1.8万人/年（47%）となっている。
- 一般利用は、1施設1,000人から2,500人程度（1日平均45～90人）。

③年間フルコスト（一般利用含む）

- 市立プール10施設の年間フルコストは約6,543万円で、1施設当たり平均654万円となっている。
(2019年度)



出典：スポーツ課作成資料

(5) 民間スイミングスクール利用校（栗原小学校）について

①実施状況

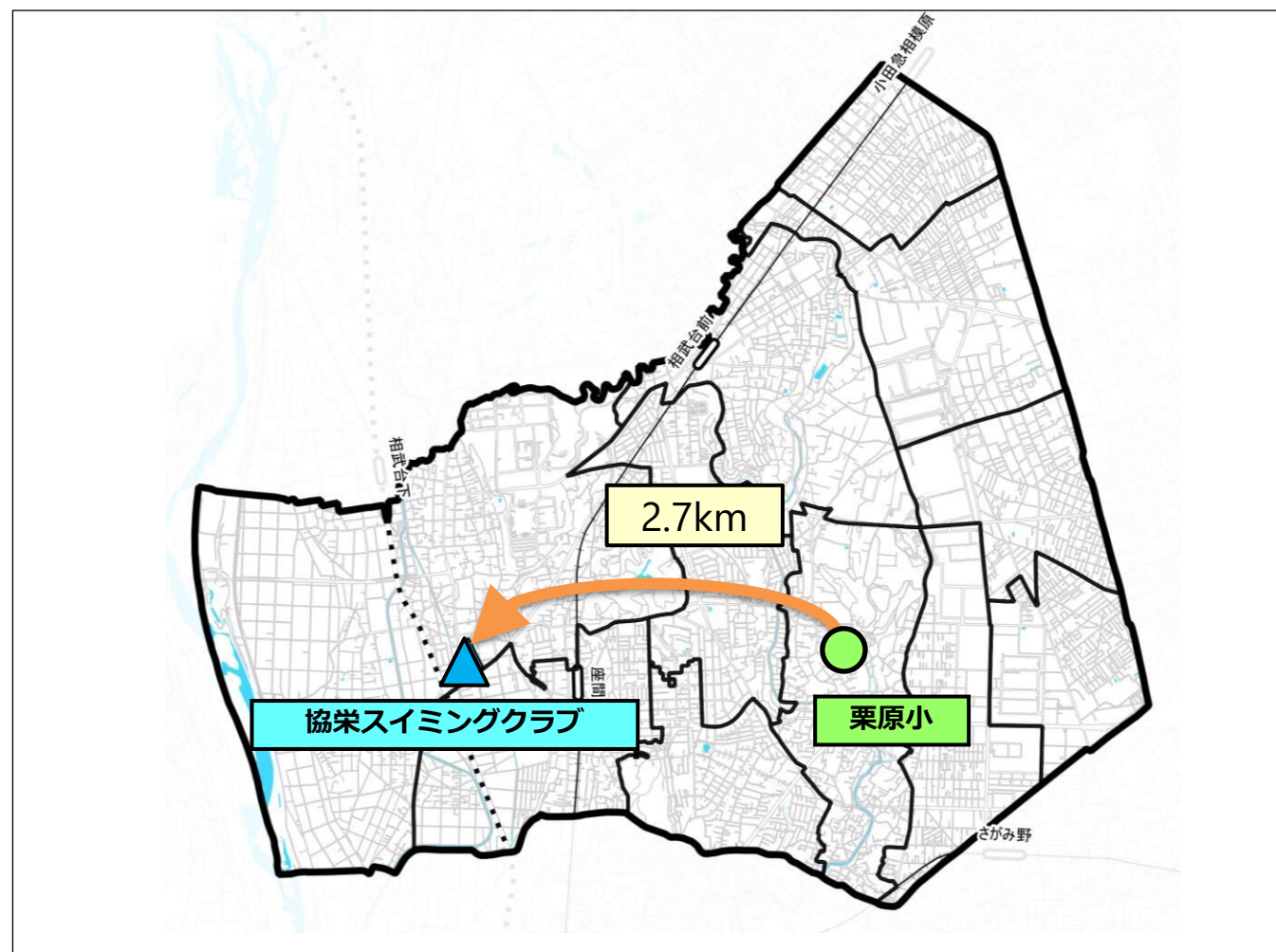
- 栗原小学校隣接地にある市立栗原プール故障のため、2019年度より協栄スイミングクラブ（座間2丁目 座間小学校区）にて水泳指導を実施している。
- 年間、各学年ごとに3回ずつ授業を実施している。
- 授業時間1時間、移動時間1時間で設定

②移動方法

- スクールの保有するバス7台程度で児童を協栄スイミングクラブに送迎している。（台数が足りない時はピストン輸送で対応）

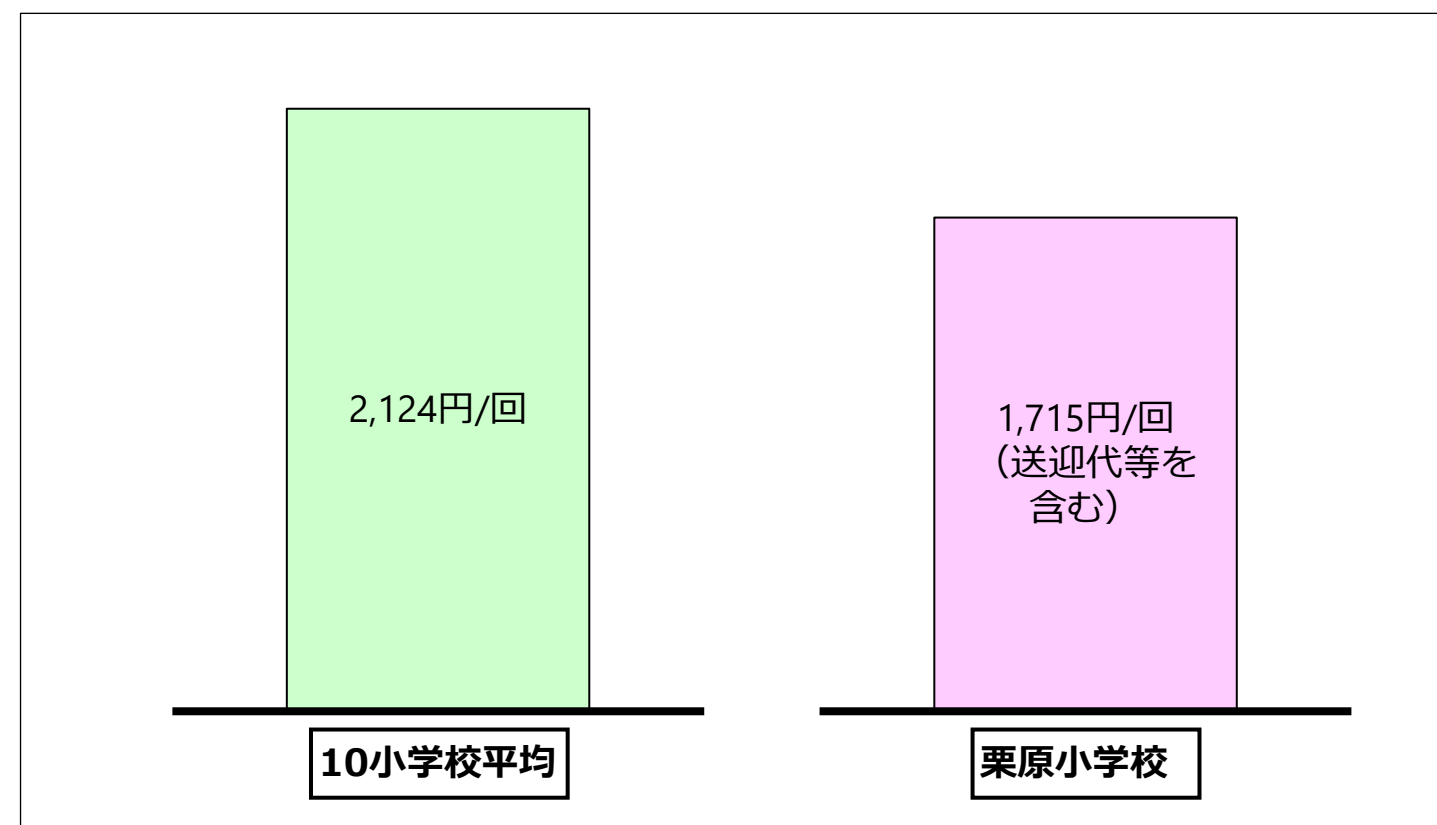
③年間経費

- 総額 約340万円/年（送迎代等を含む）



(6) 1人・1回あたりコスト

- 市立プールを利用している小学校10校の児童1人1回あたりのコストは、平均2,124円である。
- 協栄スイミングスクールを利用している栗原小学校は、1,715円である（送迎代等を含む）。

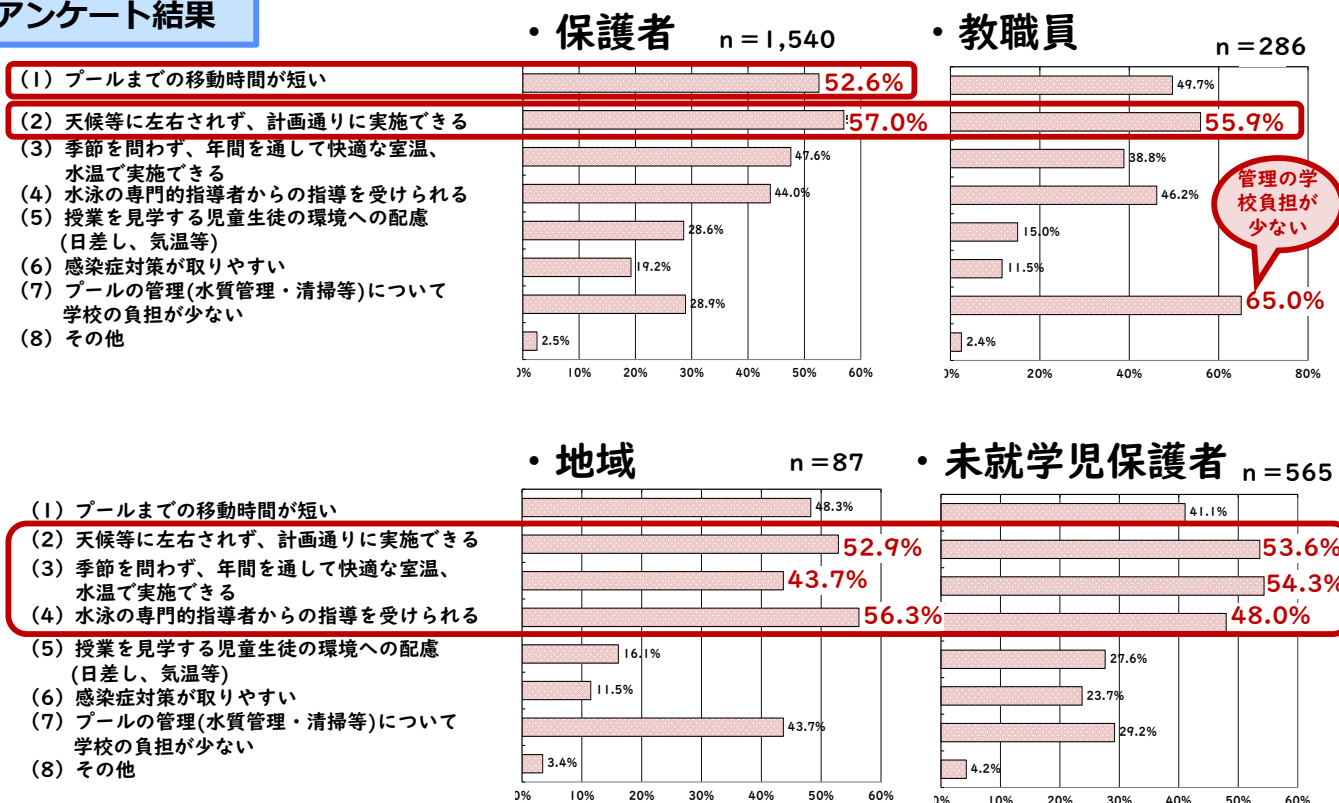


- ✓ 栗原小学校の児童1人・プール授業1回あたりコストは他校の数値と同程度であり、天候や日程に左右されず、専門的な授業が他校と同コストで実施できていることから、民間プールの利用拡大は望ましいと考えられる。

(7) 令和4年度座間市立小・中学校の教育環境に関するアンケートより

設問：将来的に授業で使用するプール施設について、重要だと思うものを3つまで選んでください。

アンケート結果



【自由回答より】

- 年間を通して使える施設として設計しなおした方が良い。【保護者】
- 民間のプール施設を利用させていただくのもありかと思えます。【保護者】
- とにかく回数をもっとプールの授業を増やしてほしいです。今年は全部で2回しかありませんでした。【保護者】
- 学校の授業でプールの必要性を感じない。【保護者】
- プールの授業のために暑い中、片道15分近くかけて歩いて行くのはどうなのか？プールに入っている時間より、移動、準備に時間がかかるのはおかしいと思う。【保護者】
- 将来的に考えれば、指導側が専門的である必要がある。また、時間もないため指導になっていない。【教職員】
- 今まで通りのプール指導の回数程度なのであれば、泳げない子が泳げるようになるわけではないので、水に対する基本的な指導が必要であると思う。【地域】
- 夏休みなどにスポーツ少年団など水泳指導の機会が欲しい。【未就学児保護者】

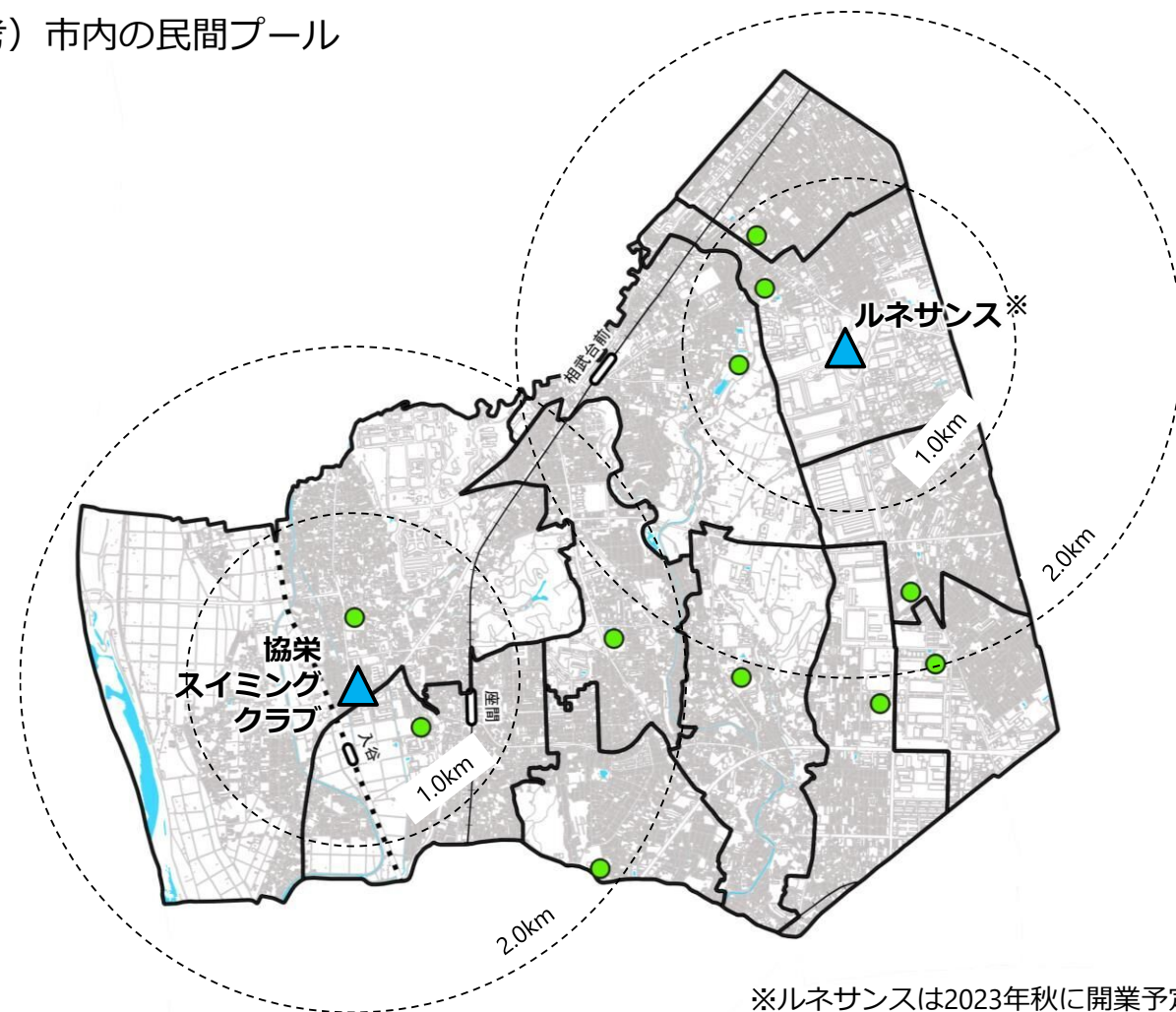
考察

- プール施設について重要だと思うものについては、保護者からは「(2) 天候等に左右されず、計画通りに実施できること」が最も多い回答となり、次いで「(1) プールまでの移動時間が短いこと」が要望されている。
- 属性ごとの特徴としては、教職員において「(7) プールの管理(水質管理・清掃等)について学校の負担が少ないこと」という回答が最も多く、プール管理が学校の負担になっているといえる。
- 自由回答では、屋内プールの利用や民間施設(スイミングスクール等)の活用、座間市立学校の水泳授業の回数が少ないというご意見や、徒歩移動の解消、専門的な指導者による授業実施の要望などが複数挙げられている。

(8) 今後のプールの方向性案(6月時点)

- 今後の座間市立小学校の水泳指導は、市立プールを使用せず、市内や近隣市の民間プールで実施していくこととし、段階的な移行により実現を図る。
- 移行期間中は、市立プールの利用を併用する。

(参考) 市内の民間プール



(参考) 指導コマ数のシミュレーション

